

天王山塚古墳(久喜市菖蒲町)

正面が南西側から見た天王山塚古墳/前方後円墳/左手が前方部、右手が後円部/6世紀中頃の築造とされる



こちらが前方部



道路が西側の前方部を回り込んでいく/正面に標柱が見える



埼玉県指定史跡天王山塚とある/左手に説明板がある



墳丘の周囲には周溝が巡っており、現在は北と東にその名残があるという



天王山塚

所在地 南埼玉郡菖蒲町大字栢間

天王山塚は、元荒川の左岸栢間地区に分布する栢間古墳群の中心をなす前方後円墳で、全長約一〇七メートル、前方部の高さ約九メートル、後円部の高さ約一〇メートル、前方部幅約六二メートル、後円部径約五五メートルあり、主軸はほぼ東西をさす。

墳丘の周囲には周溝が存在したが、現在は北と東に残るのみで、幅は二〇メートルほどである。主体部は不明であるが、墳形の形態から古墳時代後期(六世紀中頃)のものである。

栢間古墳群は九基からなり県の重要遺跡に選定されており、中の一基押出塚古墳では緑泥片岩と砂岩を用いた横穴式石室が確認されている。

昭和五十八年三月

菖蒲町教育委員会

ここから前方部墳頂へ登ってみよう



ここが前方部墳頂



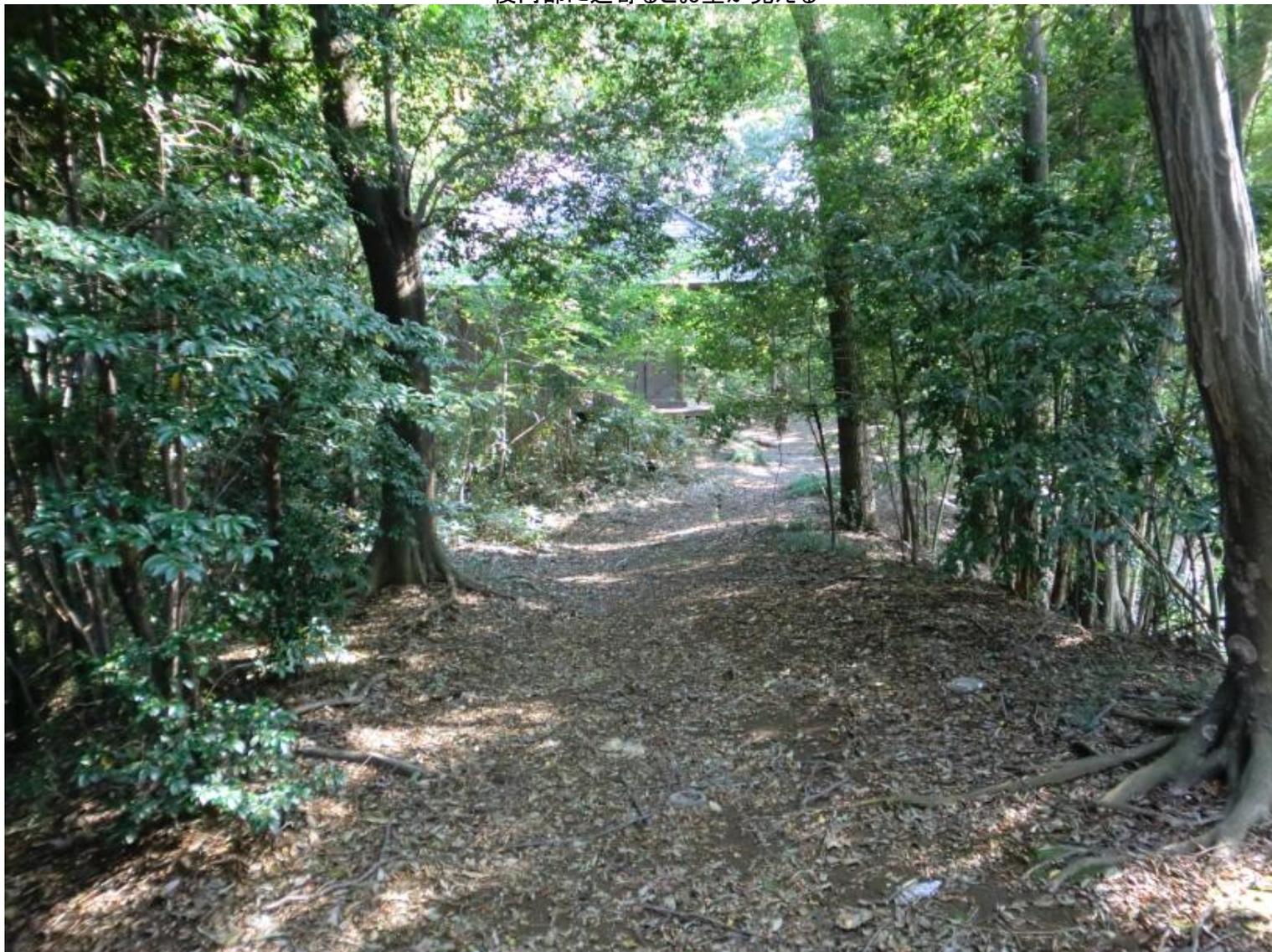
下を見る



後円部方向を見る



後円部に近寄るとお堂が見える



この辺りが「くびれ部」か



北側へ下りる道がある



西側に下りる道もあり、こちらは最初に見た倉庫のところ



振り返って前方部方向を見る



アップで前方部方向を見る



ここは後円部のお堂前



後円部は遊び場になっているようだ/左手の山は江戸時代に後円部上に更に盛り土された塚(富士塚)らしい



このお堂は薬師堂と呼ばれるらしい/薬師如来が本尊であるようだ



正面が富士塚



富士塚の足元に石造物が並んでいる





富士講関連の石造物のようだ



「弘安五年(1282)壬午」の銘がある板碑



富士塚が築かれた経緯が記された天保9年(1838年)の石碑



沢山の名前が記されている/この富士塚築造に関わった人々であろうか



これはその富士塚頂部から後円部上を見下ろしたところ



後円部から前方部方向を見る



薬師堂の先の辺りが「くびれ部」になる



アップで見る



さて、これは墳丘の北側を前方部から後円部方向に見たところ



正面の墳頂への階段の辺りは「くびれ部」か



アップで見る



この左手を見ると墳丘の裾が水堀になっていた



これが説明板にあった北側の周溝跡のようだ





北側から東側(前方)へと周溝跡が続いている



これは北側から見た天王山塚古墳の全景/右手が前方部、左手が後円部



東側から見る



南側から見る/右手が後円部、左手が前方部



アップで見る



参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/syobu_tennou/

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/84_shbu/tennou.html

http://saitamano.blogspot.jp/2008/08/blog-post_06.html

<http://kmiryoku.no.coocan.jp/tennowyamakofunn.html>

<http://www.jpn-hayashi.com/cgi-bin/pidetail.cgi?title0=%93V%89%A4%8ER%92%CB%8C%C3%95%AD&choice0=k1400150&printer=>

<http://www7.ocn.ne.jp/~htobe/tennoyamaduka.html>

<http://homepage3.nifty.com/hoshino/Shuhen/Tenou.html>

<http://blog.goo.ne.jp/daidi/e/08768130186b74d5e7e0f12d5e41ccb0>

<http://blogs.yahoo.co.jp/rsjir083/28854963.html>

<http://d.hatena.ne.jp/monksiiru/20071109/1194578282>

<http://www.knet.ne.jp/~ats/t/hist/s4/tenno.htm>

<http://paralleli.life.coocan.jp/kofunblog2/?p=3066>

<http://kagura.wa-syo-ku.com/%E6%9C%AA%E9%81%B8%E6%8A%9E/>

